

医師国家試験公募問題作成について

日本医師会では、厚生労働省の協力依頼を受け、今年度も医師国家試験公募問題の作成を生涯教育制度の一環として行うことにいたしました。

つきましては、下記要領で問題を公募します。多くの会員にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

申 込 先：北海道医師会事業第三課 〒060-8627 札幌市中央区大通西6丁目
TEL 011-231-1726 FAX 011-252-3233 E-mail jigyo3ka@m.douj.jp
申込締切：平成20年4月18日(金)

「日本医師会 医師国家試験公募問題募集要領」より抜粋

1. 趣旨

最近の医師国家試験は、合否基準、試験問題の公募、プール制の導入、試験問題の回収など、多くの点で改善が行われている。

このうち試験問題については、平成13年から全国の大学医学部・医科大学教員からの公募が開始されており、日本医師会会員にもお願いすることが、医師国試改善検討委員会で決定されている(平成15年4月17日)。

公募された試験問題は、厚生労働省内委員会でブラッシュアップされ、数万題の試験問題が蓄積され、いわゆるプール制が施行されて、良質な試験問題がくり返し出題されることになる。

地域医療に携わる臨床経験豊富な日医会員も生涯教育の一環として、医師国家試験問題を作成し、わが国の良き医師養成に参加することを望みたい。

2. 取得単位

会員が作成した試験問題は所属の都道府県医師会に提出する。取得単位数については、一般問題と臨床実地問題によって取得単位は異なるものと思われるが、当面3単位とする。

3. 出題範囲と出題形式

(1) 出題範囲は、医師国家資格試験出題基準(平成17年版)の以下の中からとする(「医師国家資格試験出題基準(平成17年版)」を必要な折はデータでご提供いたします)。

- ① 必修の基本的事項
- ② 医学総論

I. 保健医療論

II. 予防と健康管理・増進

- (2) 出題形式は、Aタイプ(5肢1択形式)とする。
- (3) 一般問題、臨床実地問題、いずれでもよい。

4. 会員の応募問題のとりあつかい

(1) 都道府県医師会生涯教育担当者は、会員が応募した問題をとりまとめ、日医生涯教育課宛に郵送する。

(2) 都道府県医師会生涯教育担当者は、出題者名を記録し、その年度の生涯教育一括申告データに取得単位を加算する。あるいはその年度の申告書に取得単位の記載があるかどうかチェックする。

(3) 日医生涯教育課は都道府県医師会から提出された出題を厚生労働省の国試フォーマットに入力する。プリントアウトしたものを生涯教育推進委員会委員長と担当理事で検討したうえで、生涯教育課から厚生労働省(インターネット)に一括して送る。